

4. 照射の方法

当院では体の外部から照射する外部照射治療を行っています。

外部照射治療には、リニアック（直線加速器=Linear Accelerator、ライナックとも呼ばれる）という治療装置が用いられています。

これは電子を直線上に加速して金属ターゲットにあてることによりX線を発生させる機器です。

当院の治療装置は6MV（6百万ボルト）のX線と電子線では6種類のエネルギーを利用することが出来ます。



副作用について

短時間で照射することによりがん細胞にダメージを与えますが、周囲の正常な細胞へも害を及ぼします。したがって、副作用の危険が、がん細胞を殺す利益よりは少ないと考えられる場合に治療が開始されます。ただ放射線治療は局所療法であり、化学療法のような全身療法と異なりますので副作用も局所的に生じることが多いようです。主な症状は以下のようになります。

頭部：	脱毛・皮膚の日焼け・吐き気・ふらつき・めまい
頸部：	嚥下障害・皮膚の日焼け・唾液の減少・味覚障害
胸部：	放射線肺臓炎・皮膚の日焼け・胸焼け・食道部痛
乳房：	皮膚の日焼け・放射線肺臓炎
腹部：	消化不良・下痢

上記の症状は各部位に放射線があたった場合に起こりうる症状です。患者さまの全身状態や治療方法により症状の出方や程度は変わります。副作用の症状につきまして分からないことは主治医または放射線治療担当の医師・看護師・放射線技師に気兼ねなくお尋ね下さい。